

あのトンチで有名な一休禅師が、亡くなる前に弟子達に三巻の遺言を残したそうです。もしお寺でどうにもならないほど、困ったことがあったら、この三巻の遺言を開きなさい、と。一休さんが亡くなって何年かして、お寺にほんとうに困ったことが起こり、その遺言書を開けることにしました。

すると…

一巻目には 大丈夫

二巻目には 心配するな

三巻目には 何とかなる



困ったときに、一番ほっとする言葉は「大丈夫」です。
そして、安心する言葉は「心配するな」
希望が持てる言葉は「何とかなる」です。

中村天風師は

『一度だけの人生だ。だから、今この時だけを考えろ。
過去は及ばず、未来は知れず。死んでからのことは宗教にまかせろ。』
と言ったそうです。

過去はどうやっても変えられません。そして、未来は誰もわからないのです。
すると残るのはこの今だけ。ならば、この今を一所懸命生きるしかありません。
一所とは、今この場です。
そこに命を懸(か)けるのが一所懸命。
心ここにあらざる時に不安になるのです。
一心不乱に仕事をしたり、わき目も振らずに集中しているときは他のことを忘れています。
困ったことや、心配ごとの9割以上は実際には起きないと言われてしています。
考えたって仕方ありません。

「大丈夫、何とかなるさ」の気持ちで、本日ただ今を生きましょう！